

# 田富小だより

令和5年度  
第10号  
1月29日  
田富小学校



## 令和6年がはじまりました

新年あけましておめでとうございます。令和6年は、能登半島地震という痛ましい出来事で幕をあげました。また、翌2日には、日航機と海保機の衝突事故が起こるなど、保護者の皆様、地域の皆様もさぞ、心配されたことと思います。石川県の子供達の中には、今だに教育を受けることもできず、そればかりか避難生活が続いていたり、身内の方が災害に会われたりして、悲しい思いをしている子供も多いかと思うと、心傷むばかりです。一日も早く元気な姿を取り戻すことができるように、心からお祈り申し上げます。

さて、田富小学校では、1月9日の始業式に、全員が元気な姿を見せてくれました。久しぶりに見る子供達の笑顔は私達教職員にとってこの上ないものです。この笑顔の子供達とともに、3学期を有意義に過ごせていけたらいいなと改めて感じました。着工時期が延びていた仮設校舎の建設も1月17日から開始され、写真のように、校庭北東部分4分の1を除いて、工事用の仮囲いで囲われました。かなり狭い空間にはなるのですが、子供達は元気に遊んでいます。以前お伝えした通り、より広い場所で体育実技を行う場合は、中学校の校庭をお借りして実施することも可能になっています。仮設校舎は、令和6年春～夏頃完成予定です。その後、



夏休みを利用してお引越しをした後、2学期から仮設校舎での生活が始まります。来年度も、夏～秋の気温上昇のため、熱中症の心配があることから、運動会は5月末の実施予定です。なかなか思うように練習もできない状況が予想されますが、新しく完成する中央市総合防災公園の借用なども視野に入れ、子供達の学びが止まらないようにしていきたいと思います。



たいへんな幕開けとなった令和6年ですが、心温まるプレゼントもいただきました。そう、ロサンゼルスドジャースに移籍が決まった大谷翔平選手からの全国の小学校へのグローブのプレゼントが田富小学校にも届いたのです。グローブは、右利き用2つ（普通サイズと小さいサイズ）、左利き用1つ（普通サイズ）の合計3点です。始業式の日、教頭先生から全校児童に紹介してもらい、6年生2名がデモンストラ

ーションとして、大谷選手からのプレゼントグローブを使ってキャッチボールをしました。明るい話題が少なかった年始ですが、子供達は大きな歓声でこのグローブを迎えました。グローブと共に添えられていた大谷選手の手紙の一部を下に抜粋して紹介します。今後、

6年生から順にグローブをまわしながら、全クラスで使う予定です。大谷選手の思いを胸に野球をやってもらえればと思っています。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

野球しようぜ。

大谷翔平

## 昔の遊びを一緒に！

1月16日（火）は、久しぶりに1日学校開放日を開催しました。これまで新型コロナウイルス感染症などの影響で実施することができませんでしたが、4年ぶりに昔のような形で実施しました（1校時～5校時までの間なら、都合のよい時間に来ていただき、自由に参観していただくというもの）。



保護者の皆さんも都合のよい時間であったり、子どもと約束した時間であったり、参観についてはそれぞれの思いがあったようです。休み時間に子ども達の様子を参観したり、給食の配膳の様子などをみたりしている方もいらっしゃいました。「地域に開かれた学校」であるためには、ご来校いただき、学習の様子をみていただくのが一番です。もっともっとたくさんの方々に観ていただけるように今後も取り組んでいきたいと思えます。

その中で、1年生は「昔の遊び」について学ぶ生活科の授業を行いました。めんこ、こま、

あやとり、はねつき、ビー玉、おはじき、けん玉などたくさんの遊びがありますから、その道に長けた方から教えていただくのが一番です。そこで、1年生のおしいちゃん、おばあちゃんやことぶきクラブの皆さんにお声がけをし、当日は20名ほどの方々が学校に来られ、直接教えていただくことができました。私の年齢では、まだ子どもの頃、こういった遊びを多く経験したのですが、ゲームやスマホがこれだけ普及した社会で、果たして子ども達は昔の遊びを楽しんですることができるのか甚だ疑問でした。あまり楽しんでくれないのではないかと、そんな心配もしながら当日を迎えました。

さて、子ども達の反応は…といいますと、紹介のために選んだ写真のように、実に楽しそうに遊ん

でいる姿をあちらこちらでみる事ができました。当日は風も強く、中庭でおこなった羽付きなど、凍えそうな状況下だったので、ことさら嫌になったのではないかと感じておりましたが、子ども達は嬉々として昔の遊びに夢中になっていました。また、当日授業を参観された保護者の皆さんの中にも一緒に遊んでくださった方もいました。楽しい昔の遊びブームは一日だけかと思いきや、1月末の今日においてさえ、休み時間にコマをまわしたり、けん玉で難しい技に挑戦したり、あやとりでほうきを作ったりといった状況です。子ども達を夢中にさせているものは



何なのか…。動画配信を視聴し、細密な動きを再現するゲームに触れて育ってきた子ども達ですが、体を使い、如何にすべぼうまくできるようになるのか頭を使い、友達と競い合う面白さがあり、と「シンプルで、手軽で、奥深い遊び」として、これらを認識したのかもしれない。新しいものにはこれまでになかった良さがギュッと詰まっていると思いますが、古いものにも捨てがたい良さが結構詰まっているように思います。おしいちゃん、おばあちゃんや地域の方々に遊び方、やり方を教えていただきながら本当に楽しい、有意義なひと時をすごせたように思います。お手伝いいただいた児童の祖父母の皆さん、ことぶきクラブの皆さん、ご協力ありがとうございました。